

## 平成28年度第2回名張市快適環境審議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成28年6月3日（金） 午後13:00から15:00

2. 開催場所 名張市役所3階301、302会議室

3. 出席者

委員 朴 恵淑

田畑 博

清水 敏代

辻森 保藏

椿原 礼子

福田 尚子

福廣 勝介

事務局 環境対策室長 猪田 徹

環境対策室 足立 和美

環境対策室 藤井 奈保子

4. 欠席者

委員 加藤 進

山本 佳也

5. 内容

(1) あいさつ

(2) (仮称) 第三次なばり快適環境プランについて

①修正案の説明

②修正案等についての審議

③望ましい環境像についての審議

(3) その他

## 平成28年度第2回名張市快適環境審議会会議録（概要）

### (1) あいさつ

#### ○会長

皆様こんにちは。

皆さんが参加できるように1時間早めて審議会を開催してよかったです。

名張市の審議会は他の審議会と雰囲気違います。本音を言い合い、うまくソフトランディングしてまとめるということで、遠慮なく議案を討議しましょう。

この審議会は、環境基本計画を作る機会であり、環境計画は、環境における憲法みたいなものです。おおもとなる総合計画が、環境において使い物になるものがないため、審議会では環境に関しては譲らない本音と言える審議会にしたいとしてここまで、審議会を行ってま

いりました。

中間案としてそろそろ終わりに近づいていますが、最後まで粘りたいと考えています。

事務局との事前打ち合わせとして難しいことをお願いしました。快適環境プランは分厚いものであるので、最後のアピールとして表紙に工夫するようにお願いしました。前に作った表紙では、表紙を見ただけでは名張のものであると思うことができません。

この快適環境プランは、コンサルがない中、職員と委員さんで一緒に作り上げるものとなっております。柱のいくつかの部分が完成する中でどこに出しても恥ずかしくないものに仕上げていきましょう。

この快適環境プランは、前からの積み重ねで出来上がってできたものです。しかし、今回は魂を入れる作業ですので、皆さんの力を貸していただきたいです。この審議会の面白いところですが、ホワイトボードを出して、皆さんの意見を出し合い、キーワードを拾って快適環境プランのキャッチコピーを決める、このようなやり方をする審議会はあまりありません。みなさんで知恵をぶつけ合い行うことはこの審議会の名物となっております。今回の最後の魂を入れる作業を一緒に考えていきましょう。

修正案の資料、提案を確認します。

魂である望ましい環境について皆さんで決めていきましょう。

## **(2)(仮称)第三次なばり快適環境プランについて**

### **①修正案の説明**

#### **○事務局**

体系と太陽光に関してですが、まず初めに7ページ、表の右側にマトリックスを追加しました。内容が適切なものであるか審議をお願いします。下の部分につきまして「協働」が以降のページで使われているのですが、「共働」か「協働」か適する表現について、議論をお願いします。

次に、50ページ太陽光パネルについて、問題点である景観、設置時のトラブル、管理の問題、廃棄の問題につきましては、当初の案に盛り込むかについて、「自然と調和した」を追加いたしました。

51ページ：総合計画に沿う形で環境との調和をとという項目をいれました。行政の役割について「情報収集と発信」という文言を追加しました。

### **②修正案等についての審議**

#### **○会長**

50ページ、51ページについて、委員よりの前回の意見をいただきました再生可能エネルギーについて、修正案はいかがでしょうか。

#### **○委員**

プランの中で謳われる文言としては妥当だと思います。今後行政で具体的にどのように膨

らませていけるかを見ていきたいと思います。

**○委員**

50ページ下から3行目の太陽エネルギー→太陽光エネルギーへ変更してください。

**○委員**

そうすると太陽熱エネルギーではどうなりますか。

**○委員**

水力、風力、バイオもすべて太陽起源といわれています。

**○会長**

では、総合計画での文言はどうなっていますか。

**○事務局**

総合計画では、エネルギーではなく低炭素社会で謳っています。37ページ4の(2)太陽光エネルギーのみの記載となっています。

**○委員**

50ページでは太陽光、51ページでは太陽光、太陽熱と2つ書きされているので、50ページにつきましても太陽光、太陽熱へと変更すべきでしょう。

**○事務局**

50ページを修正します。

**○会長**

細かい部分の修正はまだたくさんあると思います。こちらとしては中間案をだして、庁内でいろいろな調整、議会、パブコメがあり、細かい部分を見るチャンスは今後あると思いますので、その時に修正をしていきましょう。

次、マトリックスについて、7ページの市民、事業者、行政の役割について、○、●、共働、協働について、意見をいただけますか。●はやらないわけではないが、特にこのセクターをがんばるという意味で区分わけを行いました。項目がなくやらないでいいのではないかという印象を持たないように、工夫する必要があります。

大気の監視について、環境目標の欄に、行政の役割しかなかったため、行政以外の項目が「-」となっていました。主体は行政だが、それ以外も注意してみる必要があります。

「きょうどう」は「共働」でしょうか。

**○事務局**

事前打ち合わせにおいて、「共働」と伺っていたので、このようにいたしました。一般的には「協働」です。

**○会長**

一時、パートナーシップという言葉を使用することがありました。力を合わせる協働という言葉になりました。一緒に力を合わせるという意味では協力の協で作ります。これも議論すると面白いのですが、一旦は「協働」といたしましょう。これは今後議論しましょう。

○、●についてはどうですか。

## ○委員

マトリックス以外の部分について、5ページの環境目標1の2つ目ですが、環境教育という文面について、個人的な好みなのかもしれませんが、環境学習にタイトルを変えるべきではないでしょうか。環境に詳しい人はいないのでみんな環境「学習」として学ぶのではないかと、ともに学ぶという形にしたほうがいいのではないのでしょうか。細かい部分では、環境学習、環境教育とあるのですが、環境問題は解決のつかない問題になっています。みんなで学ぶからこそ協働になるので、環境学習というタイトルに変えるべきではないでしょうか。これでは、市役所、学校へ行けば学べるという印象を受けてしまいます。

環境学習として、(1)(2)で環境教育、環境学習とすべきではないでしょうか。

## ○会長

ESD(持続可能な開発のための教育)が絡むと難しくなります。ESDは幅広く、平和人権なんでも入れるものなので、このありがたい概念のESDを入りたいのです。文科省はESDの定義が学習と呼んだり教育と呼んだり、持続発展教育と言ったり、ESDの日本語の表現が教育となってしまいます。上から教える教育ではなくて、共に学びあい成長考えるという意味での教育だと思います。

## ○委員

学校を中心にみると、ESDだけでなく、学校は人権教育、食教育、環境教育など教育とつく言葉がたくさんあります。11ページで具体的な施策項目において「ESDの視点を取り入れた」「環境学習の推進」となっているところが表現上のことも含めて、気になります。資料をご覧ください。ESD教育については、持続可能な住み良い社会を作るということがあるので、いろんな教育が関わってきます。その中の一つとして、環境教育、協働の学習が大切であるということをここで位置づけてはどうでしょうか。

## ○会長

事務局では、環境教育・環境学習の充実でどういう形でもとらえられるような配慮が見受けられます。学校においては環境教育と表現しています。文章の中で環境学習となっていたり、曖昧に書いていろいろとれるように書いています。言いたいことがどういう方向かに見えるように書くべきではないでしょうか。

両方を活かし、これを宿題として、読み手が理解できるように統一していけるようにしましょう。

## ○事務局

この資料については、教育ビジョンに基づくものです。名張の教育ビジョン(平成28年3月)と整合のために、この部分につきましては、修正が必要です。

## ○委員

教育ビジョンではESD教育の視点を取り入れた学習として、協働学習として、取り上げています。それを活かすという意味で、資料のような表現でいかがでしょうか。それと同時に協働学習充実の中に、環境も含めたESDと取り入れ、教育ビジョンでもう一つ、ふるさと学

習という項目があります。行政の役割にふるさと学習と含めたほうがいいのではないのでしょうか。ふるさと学習をするなかで関連付けて、環境教育それを環境教育の一環としています。学校教育には自分たちが暮らしやすい街を作るという目標があるので、自然環境面に関する学習と地域と連携した環境学習とさせていただきたいです。

**○会長**

「ふるさと」はひらがなですか。

**○委員**

はい。現在検討委員会も実行中ですが、協同学習を進めています。水のこと等も含めて3、4年生そこに加えて名張学の推進となっていますので、その中の一つとして、ふるさとを環境学習へと考えています。

**○会長**

地域学としての名張学はぜひともやっていきたいと思います。教育に対するビジョンができているのであれば、取り入れましょう。

**○委員**

環境活動を子供たちと行う中で地域資源の重要性を感じます。行政の役割にとどまらず、上の段でおおきな項目で、郷土の地域学習とかそういった項目を大きく謳って地域の資源の中にこそ自然の豊かさもあるというものを強調してはどうでしょうか。

**○委員**

具体的な施策項目にあげましょう。

**○会長**

前回の審議で議題にあった水資源等いろんなところで地域が持っている資源として、宝としての資源に気づき学ぶということはいいことです。行政の役割だけにするのはもったいないです。上の項目へあげましょう。

**○委員**

では、具体的な施策項目の4つ目に地域と連携したふるさと学習の推進といえましょう。

**○会長**

こちらのまとめ方については事務局に一任します。みんなが名張に関してわかってほしいという形でいれましょう。名張市でコミュニティースクールはどうなっていますでしょうか。

**○委員**

今も推進しています。地域と連携した学習はとても大切なことです。

**○会長**

ありがとうございます。他にご意見はございますか。

**○委員**

現状と課題の部分について主語述語の問題で細かい部分の修正があります。行政の役割について、主語が小学校、中学校のものをまとめたほうがいいので、順番を変更しましょう。1

番目から3番目までについて小中を消して各学校においてという形に変えてください。目標項目について、環境団体による環境学習の参加やゲストティーチャーの招聘等を行った小中学校両方を評価しなければいけなくなっています。環境団体、ゲストティーチャー等による環境学習を実践した小中学校の役割と変更するとはっきりとした数値となるのではないでしょうか。

#### ○事務局

意味合いとしては、委員の意見を表現しなかったものです。では、変更させていただきませう。

#### ○会長

6、7ページについてはいかがでしょうか。

#### ○委員

市民の方から、地域の方から、協働で学ばせていただくことも多いので、2(1)①の市民・地域の部分は○を入れてはいかがでしょうか。事業者の方から学ばせていただく機会もありますので、事業者も○をお願いします。たとえば、ゲストティーチャーとして、水辺のことについて、学校にJAの方が来ていただいたこともあるので、7ページ2(1)学校での教育の市民、事業所に対し、○と追加しましょう。

#### ○会長

教育はみんなで一緒にやるものですので、こちらの意見を取り入れましょう。

#### ○委員

主に小学校なのか、新たなコミュニティースクールなのかどちらでしょうか。この中で、新たな活動とかアイデアを用いるのか、この快適環境プランは第三次となっていますので、今まで地域でやってきていることの内特にこういうことが必要だとして位置付けるのかどちらでしょうか。

環境教育は、ここでは、一般環境のことを示していると思うのですが、通学路、通学環境についてはいかがでしょうか。地域、保護者も含めて、全般的に考えていかなければならない問題だと思います。

#### ○会長

確かに教育はみんなで考える問題です。どちらが主体的な立場になるべきか、この○、●に囚われず、考えていく必要はあります。

#### ○委員

この6、7ページにおけるマトリックスですが、－はないけど空白は作るべきではないのでしょうか。●は主体的に取り組むセクター、○は重点的に取り組むセクター、空白の部分も含めてすべての人が取り組むのだとして、注釈を入れるべきではないでしょうか。すべて○を入れてしまうと、面白くないので、空白は残した状態で、そうすることで協働なのか、共働なのかの問題も解決します。

## ○会長

しかし、空白はよくないです。空白があるとやらなくていいのではないかという印象を受けてしまいます。○ですべて埋めてしましましょう。空白は、みんなやるという意識を持たせるために、すべてに○を付けましょう。こちらの○の表記ですが、○は YES、●は NO という印象を受けます。こちらでは、●のほうが、主体的に取り組むとされているのですが、●は、悪い印象を与えます。素案では◎と○となっていたのですが、●○、◎○どちらがいいでしょうか。

## ○委員

◎のほうがいいのではないのでしょうか。三段階にして空白部分を別の表記にしませんか。◎、○、☆か●として、やはり注釈をつけるよりこちらを入れたほうがいいと思います。

## ○委員

余りマークを増やしすぎてしまうとわからなくなってしまいます。主体的にやるどころか協働これだけに絞るべきです。

## ○会長

○は全部入れる、●を◎に変える。このように決定します。また、◎だけに「主体的な立場をとる」という注釈をつけましょう。

## ○会長

それでは、望ましい環境イメージについての議論に移ります。その前に、修正項目への意見をお伺いします。

## ○委員

直したいところについては、8ページの「さらに地域づくり組織条例～」から始まる部分ですが、最後に「各地域と市がそれぞれの活動を尊重し、互いに協働・連携し住民主体のまちづくりを推進していきました。」とありますが、名張 15 地区の内部において、住民主体なのですが、住民の中で内紛しているところもあります。住民主体と記載してしまうのではなく、行政関与についてもいれてほしいです。この制度については時期尚早ということで反対の立場でしたので、旧制度があるのでそれとの混乱で、まちづくり協議会が第 2 権力となっているという印象を受けます。同じように住民主体としてしまうと環境についても住民主体で、住民でしてくださいという形にならないでしょうか。協働とするのであれば、主体は行政と住民両方です。

## ○委員

まちづくり協議会と自治会は対立関係ではないです。名張市は全住民に対してなので、平成 21 年に従来の区長制度とまちづくり委員会が一つの組織となって、区長制度が廃止されて、15 地域の中で、筋が一本とおるような効率的な行政も住民も協働して行っています。それがそういうふう運営されているかどうかについては、組織、地域の問題であって一般的なそういう中で各 15 地域は活動しています。地域のことは伺っていますが、それについてはある程度直していく必要はあるでしょう。あくまで住民という中で、その地域がどうあるか

については、ここで表記できるでしょうか。

**○委員**

まちづくり協議会の話題になると脱線してしまうのですが、地域の問題であるのが、当然なのですが、行政はこの問題について把握しているのでしょうか。

**○委員**

それは、代表者会議で区長さんがおっしゃったこともあるし、地域部は知っていると思います。

**○委員**

環境を地域の問題としてしまい住民主体でやってしまえとなってしまうことを懸念しています。行政が関与をするような書き方にすべきではないでしょうか。

**○委員**

「各地域と市がそれぞれの活動を尊重し、互いに協働し」の協働は行政でもあるし、地域でもあるのではないのでしょうか。

**○委員**

しかし、最後に「住民主体」と書いています。

**○委員**

住民主体なので、行政がやるわけではないです。ここでは、住民主体ではないでしょうか。

**○委員**

広く解釈しすぎなのかもしれませんが、その後、「各地域をはじめ多様な主体の協働・連携の発展が求められます」となっているので、こちらで補完できないでしょうか。歴史は2段目、3段目に今後という形になっていないでしょうか。

**○委員**

発展が求められると書かれているが誰が引っ張るのかについての記載がないです。住民に渡すのはいいことだが、これを長い歴史のある自治組織のあるところにいっきに渡せないのではないのでしょうか。

**○委員**

各地域、喧々諤々とありました。

**○委員**

これについては、話がそれてきてしまいますので、ここで議論を中断します。

**○委員**

人口減少、少子高齢化の話が同じところにあり、52ページに山紫水明でいいところであるという記載ですが、名張に限らずどこの街でも人口増で自然を破壊したと考えています。少子高齢化になるこのチャンスで自然を還元しようという項目を加えていただけないでしょうか。自然豊かであるという書き方ではなく、破壊したということも記載してほしいです。

**○委員**

では、人口減少が「今後ますます」と入れてはどうでしょうか。強調する必要はないのではないのでしょうか。

**○会長**

こういった文面は総合計画から持ってきた案ではないのでしょうか。総合計画から、必要以上に不安をあおるような書き方はしないほうがいいでしょう。では、パンチがある形容詞をさげ、総合計画に合わせてそういう意見を盛り込めるか検討しましょう。

復元再現となるとすごく重い表現になってしまうので避けましょう。52ページでは、名張において知らず知らずに破壊した自然を反省して、緑と水を守りつつ、街は発展がなければ、死んでしまいますので、自然との調和をとれた快適な環境づくり等の表現にしましょう。52ページに、少し盛り込めるといいですが、これで1時間、2時間の議論となってしまいます。

**○委員**

では、自分で意見を入れて、委員全員にメールで回せないのでしょうか。

**○事務局**

7月までに中間案をいただけますでしょうか。

**○会長**

このページですが、淀川水系の数字は正しいのでしょうか。

**○委員**

淀川水系で1660万人でいいのですが、名張のことを書いているので、木津川内の名張川が1660万人のすべてという誤解を受けるのではないのでしょうか。

**○委員**

名張川から木津川があって、木津川と瀬田川と桂川で淀川へとつながります。

**○委員**

名張川が1660万人すべての水瓶を担っているような表現では誤解を受けるので、この表現は変えるべきでしょう。

**○委員**

名張川は一翼を担っているという表現でどうでしょうか。

**○会長**

大阪にも影響があり、1660万人の一部は名張からですが、こちらは、誤解のない表現に変更しましょう。他に気になる表現はありますか。

**○委員**

名張市を都市と呼ぶのでしょうか。

**○事務局**

都市の表記は確認します。

## ○会長

一万人以上の市となった場合、都市と呼びます。

## ③望ましい環境像についての審議

### ○会長

では、4ページのキャッチコピーを考えていきましょう。

(以下「」内はキャッチコピー案を示します)

### ○委員

①「自然の恵みと人とが共存するまち、なばり」です。

### ○委員：

②「人に気くばり（地域に目くばり）地球にこころくばり 私たちのまちなばり」  
地域に目くばりを入れるかどうか迷っています。これは主体を人にもってきました。与えられた環境像ではなくて、市民・行政が人に気くばり、地球に心配りする、自分が主体となるように、主語が自分となるように考えました。あとは、なばりばり祭りがあり、名張の住民の方に“ばりばり”という言葉は響き、かつなじみやすいと思います。キャッチコピーはどこの町も同じようなものになりがちなので、“ばりばり”が入ることにより、名張らしさが子供にでも残るのではないのでしょうか。

③「人と自然が華やぐ名張」

団地に花の名前が多いので、華やぐ、人と町が生き生きするように考えました。

### ○委員

④「水光緑そよぐところ」

⑤「人と自然が笑顔で行き交う里まちなばり」

⑥「深呼吸したくなるなつかしく新しい里まち（なばり）」

名張のイメージとして考えました。名張は、里もありまちもありなので、里まちという言葉を作りました。

### ○委員

⑦「環境生産・環境成熟を目指す水源のまち・なばり」

環境生産という言葉にはこだわっています。現状に満足しないので“目指す”というベクトルを入れたいと思います。

### ○委員

⑧「清流の郷をかもす名張」

ダムを二つ持っていますので、清流を入れました。

## ○委員

⑨「㊦んきょう快適

㊦かす自然

㊦をとりあつて

㊦もちのよいまちづくり

名張市」

アクロスティックで考え、縦読みで“かいてき”となるようにしました。

## ○会長

では、皆さんのキャッチコピーから、キーワードを見つけていきましょう。

- ・名張を外へアピール
- ・名張が人、自然豊かなまちであること表現している
- ・地域からグローバルまで持ってきている
- ・環境と自然とビジネスがうまくマッチングしている（もしくは、目指す）

共通項としては

- ・なばり
- ・～まち

があります。みなさんのキャッチコピーに水がよくでています。水が共通項でしょうか。また、自然も共通項としてあります。また人については、アクションが伴う人のようです。自然とは、人がとる行動とは、こちらについて考えていきましょう。また、名張は、時間軸で言えば、古いものと新しいものが共存し、空間スケールで人が循環して回っています。“ばりばり”は、名張を表現するものとしておもしろいです。人がとる行動として、たとえば、笑顔なのか、華やぐとか快適とか目指すとか醸すとか具体的にするのか抽象的にするのか考える必要があります。また、“里まち”は原風景はあるがまちであるといういい表現だと思います。

## ○委員

表紙と理想像は一緒になくてもいいのですか。

## ○会長

一緒になくてもいいですが、インパクトが違います。

## ○委員

②についてですが、地球→自然に変更にしてはどうでしょうか。

## ○委員

①と②をくっつけて、「自然が共存するほっとまち なばり」でどうでしょうか。

## ○委員

②について、韻を踏んでいるのでリズム感を出したいです。盛り込みすぎでは良さが消えてしまいます。しかし、里まちという言葉が気に入っているので、表紙、キャッチコピーどちらかで“里まち”と“ばりばり”と利用できないでしょうか。

## ○委員

たとえば、「人に気くばり 地域に目くばり 自然にこころくばり 里まちなばり」では、①と③は同じ意味だと思いますし、水、緑も自然でうまく表現されていると思うのですが、私たちのまちを「里まち」にすることで意味が通りそうですか。

## ○委員

リズム的に里まちの前になにか入れたほうが良いと思います。

## ○委員

里まちと聞くと田舎なイメージですが、里まちのイメージはどういうものですか。

## ○委員

いわゆる田舎のイメージの場合、“里山”となります。里山というには名張には、旧町、団地があるので、里山とは違いますし、新旧が交わっている部分もあるので、里まちなのではないかと考えています。

## ○委員

人間との境界が里山です。名張はその境界がなくなってきたので、猪、鹿がでるようになってきました。

## ○委員

里山にはないつながりを“里まち”で新しくめざしたいという意味もあります。

## ○会長

名張でなければ、里まちという表現はできないと思います。限界集落ではなく、大阪へ電車で乗換え無し一本で行けるまちでありながら、まだまだ自然があります。どういうイメージを持たれるかわかりませんが、里とまちでイメージを読み手に膨らませる方法をとみましょう。また、地球という表現について、現在、ローカルとグローバルが混在する中で、次の世代の子供たちを地域で育てて、世界的に広い心をもって、知識と能力を発揮できるようにと考えています。そして、そこから名張に還元してほしいという思いがあります。人が自然体としての生き物として、まちを作って、世界を見据えて、けれども自然を見失わないようにという意味合いをいれたいので、地域に目配りを入れましょう。複雑に入れるより、読み手にイメージを入れるように、②に里まちなばりで囲んでいきましょう。また、“ばり”の色を変えるとすばらしいです。また、人が先にあるというのはいい表現だと思います。

「人に気く**ばり** 地域に目く**ばり** 地球に心く**ばり** 里まち **なばり**」  
地球と自然ですが、どちらにしましょうか。

## ○委員

里まちに自然が入っているのであえて、地球と書かれているものに自然と置き換える必要はないと思います。

## ○会長

自然ではなく、くるっとまわって名張にもどるように地球としましょう。また、“ばり”は緑でします。では、下記にキャッチコピーは決定しました。

「人に気く**ばり** 地域に目く**ばり** 地球に心く**ばり** 里まち **なばり**」

## (3) その他

### ○会長

加えて表紙についてですが、総合計画の表紙があまりよくないと思います。西ばかり見ているものとなっています。今すぐというわけではないですが、事務局側でデザイン案を考えましたので、方向性について意見をいただけますか。入れたいものの意見をいただけたらお願いします。環境について、これから頑張るのだというものが表現できるような表紙にしたいと思います。

### ○事務局

名張の花は桔梗、木はもみじ、マスコットのストッピーちゃん、名張市所有の破碎機のストッピー号とギフチョウを表紙にいれてみました。

### ○委員

もっともりだくさんにいれたらどうでしょうか。自然の豊さ環境の豊かさを示すのに市の花のようなものではなく表現できるものがあればいいと思います。豊かな環境があるということを田、畑、水路をいれてはどうでしょう。

### ○事務局

現在使用できる写真が広報のものしかありません。表紙のために撮りに行きたいと考えていますのでいいアイデアがあれば教えていただけませんかでしょうか。

### ○委員

花いっぱい活動のように子供たちがあるものもいいのでは、ないでしょうか。

### ○委員

ひまわりが美旗にありますので、どうでしょうか。

### ○会長

これについては、事務局に後日お願いします。庁内の調整、議会、パブコメとありますので、何かありましたら、委員の皆様にご連絡をください。中間案については、細かな修正がありますが90%以上できあがりしました。これにて、第2回審議会を締めさせていただきます。ありがとうございました。